

(各種福祉団体用)

平成 年 月 日

秋田市共同募金委員会会長 様

団 体 名

代表者名

印

平成29年度共同募金による平成30年度事業への助成要望について

標記について、下記のとおり要望します。

要望額	一金	円也
-----	----	----

別紙助成要望書添付 () 枚

(別紙)

平成29年度共同募金からの平成30年度事業への助成要望書

枚中 枚目

団 体 名	
代 表 者 氏 名	
設 立 年 月 日	年 月 日
要 望 事 業 名	
具体的な事業内容 および助成金の使途 ※書ききれない場合は、別紙に 記入して添付してください。	
事 業 実 施 頻 度	実施予定回数 回
対 象 者 数 ・ 件 数	予定対象者数 人 件数 件
総 事 業 費	円
助 成 要 望 額	円

事 務 局 住 所	〒 ー	
事 務 局 連 絡 先	電話 ー	FAX ー
事 務 局 担 当 者 氏 名		
書 類 等 送 付 希 望 先 ※□に✓印をしてください。	<input type="checkbox"/> 上記事務局住所に同じ <input type="checkbox"/> 下記住所へ送付希望 〒 ー (住所) (氏名)	

(各種福祉団体用)

記入にあたっての注意事項

【基本的事項】

このたびご記入いただく助成要望書は、平成30年度の助成を要望するものです。

平成30年度の助成金は、平成29年度の共同募金運動の実績により算定されます。また、共同募金運動は法の定めるところにより目標を定めて行う計画募金です。今年度の募金目標額は、この助成要望書の積み上げにより設定されます。

毎年10月1日からおこなわれている赤い羽根共同募金ですが、昨今の経済情勢の低迷や、住民の意識の変化などにより、平成8年度をピークに毎年募金額が減少してきております。

赤い羽根共同募金の助成内訳は大別すると、市社協助成、福祉団体等公益助成、地区社協助成からなります。募金額の減少により、市社協目標に対する助成額を減額調整して他の助成へ影響が無いように努めて参りましたが、今年度の共同募金運動の実績が更に減少した場合、来年度の助成金を要望額から減額して助成しなければならない可能性があります。

ぜひ、助成を要望する団体のみならず、10月から始まる「赤い羽根共同募金運動」の募金活動へ積極的にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、今年度の募金目標設定にあたり、すべての助成要望書は秋田市共同募金委員会が設置する審査委員会において、共同募金運動の主旨に適合するか、秋田市全域において均衡が図られているか、達成できる目標額となるか等さまざまな観点から審議・調整されます。

- ◆団体名 貴団体の正式名称をご記入ください。
- ◆代表者氏名 代表者の氏名をご記入ください。
- ◆設立年月日 設立を議決した総会等の年月日または規約の制定された年月日をご記入ください。
- ◆要望事業名 助成の透明性を図るため、貴団体が行う事業への助成となりますので、団体の運営費や活動費等ではなく、助成金を充当する具体的事業名をご記入ください。
※（例）「〇〇事業」「〇〇研修会」「〇〇大会」
1事業につき1枚の助成要望書といたしますので、複数の事業へ充当する場合は、コピーの上、事業ごとに助成要望書を作成してください。ただし、助成による事業の細分化はできるだけ避け、重点事業に充当するようにしてください。助成要望書が複数枚になる場合、右上欄に何枚中の何枚目であるか記入してください。
- ◆具体的な事業内容 および助成金の使途 要望事業名の欄に記入した事業の具体的な内容および助成金の使途を簡潔に記入してください。書ききれない場合は、別紙に記入して添付してください。
- ◆事業実施頻度 要望事業名欄に記入した事業の実施予定回数を記入してください。
- ◆対象者数・件数 おおよその対象者数を記入してください。件数で記入するのが不相当と思われる事業については件数の記入は省略しても構いません。
- ◆総事業費 要望事業名欄に記入した事業の総事業費を記入してください。
- ◆助成要望額 要望事業名欄に記入した事業に対し、平成30年度において助成を要望する金額を記入してください。上記「総事業費」を超える額は記入しないでください。
- ◆事務局住所、連絡先、担当者氏名 事務局がある場合にご記入ください。ない場合は、代表者等連絡がとれる方をご記入ください。助成要望書が複数枚になる場合は、1枚目のみ記入してください。
- ◆書類等送付希望先 今後、送付する書類の送付希望先をご記入ください。

